

第4 2回埼玉西部地区少年サッカー育成大会

大会実施要項

- 1 目的 サッカー競技を通して少年の心身を鍛え、フェアプレーの精神を養うと共に、埼玉西部地区少年サッカーの普及とレベルアップをはかる。
- 2 主催 埼玉西部地区少年サッカー連絡協議会
- 3 後援 株式会社 住協
- 4 期 日 令和元年8月17・18・24日（予備日25日）
- 5 参加資格 平成31年度（公財）埼玉県サッカー協会、埼玉県スポーツ少年団に加盟登録した団体であること また当該団体の選手であること。
- 6 参加条件
 - ・大会に参加する団体は、その所属する選手を必ずスポーツ安全保険に加入させていること。
 - ・参加チームごとに同行できる審判員がいること。
- 7 会 場 Aクラスー鶴ヶ島市 Bクラスー坂戸市
Cクラスー川越市 Dクラスー入間市
- 8 試合方法 トーナメント・リーグ戦（別紙組合せ表参照）とする。
試合人数は8人制とする。
- 9 試合時間 A・B・Cクラス 20分ハーフ Dクラス15分ハーフ
- 10 同点の場合 トーナメント戦はPK戦(3名)とする。ただし、準決勝・決勝戦は5分ハーフの延長戦を1回行い、なお、決しない場合はPK戦により決する。
なお、フレンドマッチの場合は、PK戦は行わない。
リーグ戦は次により順位を決定する。
 - (1) 勝ち点の多い順（勝ち点は勝者3点・引き分け1点・敗者0点）
 - (2) 得失点差の多い順
 - (3) 得点の多い順
 - (4) 両チームの勝者
 - (5) なお決しないで必要がある場合は、PK戦（3人）により決する。
- 11 選手登録 ①（公財）日本サッカー協会第4種の登録にかかわらず、チーム内の選手の中からエントリーすることができる。
②合併チームでの参加は可能とする。
③複数クラスへのエントリーは認めない。
- 12 選手交替 メンバー表に記載された選手の中で自由な交代を認める。
 - ① 交代は、主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
 - ② ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに主審に通知し、主審の承認を得て行う。
 - ③ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- 13 使用球 公益財団法人日本サッカー協会公認4号ボールとし、両チーム持ち寄り主審が決定する。
- 14 服 装 衣類に金属類はつけない。スパイクはポイント固定式の危険のないものとする。
※会場によりその他制限を受けるものもある。
- 15 競技規則 次の（1）から（3）の他は、日本サッカー協会競技規則2018/2019および8人制サッカー競技規則による。
 - (1) 1チーム6名以上8名以下の競技者によって行い、競技者のうち1名はゴールキーパーとする。退場者が出た場合は、交代選手の中から競技者を補充できる。
 - (2) 競技のフィールドは、長さ68m、幅50mを標準とし、クラス・実施会場により、フィールドサイズを縮小する場合がある。
 - (3) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
 - (4) 天候により競技時間内に1～2分の飲水タイムまたは、クーリングブレイクを実施する。
- 16 表 彰 優勝以下第3位までを表彰する。

第4 2回埼玉西部地区少年サッカー育成大会確認事項

1 代表者および参加チーム義務事項

- ① 参加チームの責任者は、試合会場への来場時および帰宅時には本部で受け付けをすること。
- ② 参加チームの責任者は、第一試合開始30分前までに集合し、全試合終了まで会場運営に協力する。
※別途、会場単位の指示を履行すること。
- ③ 審判員は有資格者とし、担当する試合の開始10分前に審判服を着用の上本部前に集合し打合せを行い、義務を履行すること。※審判証の提示を義務付ける。

2 メンバー表の提出とユニフォーム確認について

- ① メンバー表はエントリー表をコピーして使用すること。
- ② 選手氏名は、交代選手を含めフルネームで記入すること。
- ③ 先発選手を記して試合開始30分前までに本部に**1部提出**のこと。
- ④ 参加チームは、FP/GKとも正副のユニフォームを準備すること。
但し、C・Dクラスにおいては正ユニフォームのみでも可とする。
(試合において対戦チームとユニフォームの色が紛らわしいときは、ビブス等の対応を可とする。)
- ⑤ FP/GKとも登録された正副両方のユニフォームを試合開始30分前までに持参して、主審または会場責任者が確認し、試合前に指示されたユニフォームを着用する。
- ⑥ ベンチに入れる者は、メンバー表に記載された選手と指導者(役員)5名以内とする。
(体調不良等でベンチに指導者が不在になる事態を避けるため、複数指導者でのベンチ入りが望ましい)

3 ベンチへ入る指導者は、少年年代の指導者としてふさわしい態度・言動(指示)で臨むこと。

(喫煙・携帯電話の使用・カメラの使用・審判服着用での着席は禁止とする。)

(戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア内でその都度1名とする。)

4 不正行為により退場(退席)を命じられた選手(指導者)は次の1試合を出場停止とする。また、警告については累積2回の場合についても同様とする。

5 天候その他の事由により試合途中で中断した場合、再開後の試合時間は規定の試合時間の残り時間とする。なお、再開については、会場責任者の指示による。

6 試合中の会場付近でのボールの使用は禁止する。その他会場責任者の指示による。

7 煙草の吸殻・缶瓶等のゴミは、各チームで責任を持って持ち帰ること。

8 車は最小限にすると共に、路上駐車等近隣住民、会場責任者等の迷惑にならないよう心掛けること。

9 大会参加チームの指導者は、棄権するときは、事前に対戦相手、会場責任者に連絡するなど大会の運営に協力すること。(審判については履行すること。)

10 上記事項は参加チームの責任において厳守するものとし、運営上会場責任者に迷惑をかけないようにすること。上記事項が守れないチームは理事会において懲罰について審議する。

11 雨天の場合は**6時30分**以降に会場責任者に確認すること。

☆以上のことについて参加される関係者・保護者に周知徹底してください。